

## <令和元年度小平第九小学校学校経営方針>

校長 西 俊幸

### <はじめに>

今年度も、これまでの伝統を継承し、地域との連携を図りながら、引き続き全教職員が一丸となり、子どもたちの健全な成長と豊かな学びを創造していきます。その柱となるのは、「小平市教育振興基本計画」です。その基本理念「はぐくみ・支え合い・学びでつながる 小平の人・まち・未来」に基づきながら、本年度の学校経営を進めて参ります。

子どもは、家庭、地域、学校を生活の場としていますので、この三者が相互に理解し合い協力し合って子どもを育てていくことが大切です。また、校内の全教員が共に支え合う意識をもち、組織として課題に取り組むことも重要です。

### 1 学校の教育目標

- ・よく考えすすんで学ぶ子
- ・助け合うやさしい子
- ・心も体もたくましい子



小平市立小平第九小学校 校章

### 2 目指す学校の姿

#### **子どもの成長を実感できる学校**

**～分かる授業づくり 居心地のよい学級・学校づくりを通して～**

子供が、学校で過ごす多くの時間は、授業時間です。授業の中で、子供の「分かること」や「できること」が増え、教師と子供及び子供相互の人間関係が作られ、学級の雰囲気形成されていきます。だからこそ、我々教師は、授業を大切にしなければなりません。

そこで、目指す学校の姿に迫るため、以下の点が重要だと考えます。

- ① 義務教育9年間の基礎となる小学校が、学力向上の礎となる分かる授業作りを進めていくこと。
- ② 子ども一人一人にとって居心地のよい場づくりに励む学級経営・専科経営を推進し、次代を担う子どもたちの夢と希望の自己実現を支援していくこと。

### 3 具体的な方策

#### (1) プロジェクト1「すべての子どもの生きる力を強化する」

- ① 年間を通して安定した学級経営・専科経営→特色ある教育活動推進校の研究内容・教師と子どもとの信頼関係の構築

子どもの自己肯定感の高揚を図るかわり方（個人や集団で「できる・わかるようになったこと」を、教師が、友達が誉める指導）

- ・不登校の未然の防止と、不登校児童への継続的なかかわり
- ・いじめ防止への取組
  - 学年間での情報共有と迅速な校長・副校長への報告
  - 週1回の生活指導連絡会の実施
  - 年3回のいじめ防止アンケートといじめ防止授業の実施
  - 年1回の子どもの学校での生活状況に関わるアンケートの実施
- ・分かる授業の実践
  - 年4回の校内研究授業
  - 校長・副校長による授業観察での実践
- ・積極的な他の教員の授業の参観（授業ウォッチ期間など）
- ・学習規律の徹底
- ② 小・中連携教育
  - ・あいさつ「九小の子はあいさつ名人」      あいさつは心のリボン運動
  - ・読書「つづけよう読書マラソン」      読書旬間・月間の実施
  - ・体力の向上      体力テストの分析とその結果を生かした活動
- ③ どの子ども伸びる九小スタンダードのいっそうの定着（視覚化、明確化、見通し）
  - ・ユニバーサルデザインの実践（ホワイトボード、タイムタイマーの活用等）
- ④ ポプラ学級と通常の学級の交流
  - ・ポプラ祭りへの1年生の招待
  - ・通常学級の運動会演技や授業への参加等
- ⑤ 各教科の基礎的な知識・技能の定着を図る。
  - ・週ごとの指導計画の適切な作成
  - ・週3回の朝学習
  - ・伝える活動の工夫
  - ・東京ベーシックドリルの朝学習等での活用
- ⑥ 「特別な教科道徳」の授業の充実を図る。
  - ・道徳授業地区公開講座の充実
  - ・年3回のいじめ防止にかかわる授業の実施
- ⑦ ランニング月間、体力アッププロジェクトの実施、たてわり遊び、外遊びの奨励
- ⑨ 「さわやかスタート」を徹底する。
  - ・毎朝8時15分の始業時には、教室又は昇降口で子どもを迎える。
  - ・玄関での靴と傘の整理整頓「かさはクルクル、かかとはピ！」
- ⑩ 食育を推進する。
  - ・食育の全体計画・年間指導計画を基に、引き続き食育の推進をする。
  - ・安全で美味しい給食の提供
  - ・食物アレルギーへの対応を丁寧かつ確実に行う。
    - 栄養士、養護教諭と保護者との相談の上でのアレルギー対応給食の準備
    - 保護者の了解の上でのアレルギー対応児童の月別のメニューの教室内掲示
    - 栄養士及び担任によるアレルギー対応児童に提供する給食の安全確認後の配膳
    - アレルギー対応のロールプレイ研修の実施
- (2) プロジェクト2「学校・教員・家庭・地域が高め合う」
  - ① 学年会を核としたOJTの実施
    - ・授業内容・方法の情報交換

- ・学年会等の情報共有の時間及び学年学級事務等の時間の確保（働き方の見直し）  
月曜掃除なし時程の設定 1年水曜4時間授業と2年毎日5時間授業の実施  
あゆみ作業日、要録一斉記入日、引き継ぎ日の設定
- ② 研究・研修の充実
  - ・プログラミング学習に関わる研修会の実施（年間3回）
  - ・全教員を対象としたでのOJT研修の実施（年間11回）
- ③ 保護者・地域に向けた積極的な発信
  - ・各種通信を活用して、子どもの様子や成長など積極的な情報発信を行う。
  - ・学校公開日等を活用し、子どもの成長を積極的に発信する。
- ④ 学校評価の充実
  - ・保護者・地域による学校評価・子どもの授業評価を実施し、授業改善・学校経営に生かす。
- ⑤ P T Aや地域行事への参加の奨励
- ⑥ 保護者会、個人面談（年2回）の充実
- ⑦ 開校50周年記念誌（副読本）を活用し、九小や地域の歴史の理解を進める。
- ⑧ 九小学校避難所開設準備委員会を引き続き開催し、小平九小避難所管理運営マニュアルを作成する。
- ⑧ コミュニティスクールの立ち上げを目指した準備委員会の実施（年間5回）
- ⑩ 放課後子供クラブとの連携の推進
  - ・放課後子供クラブとの連絡会の実施
  - ・漢字検定の実施、よさこいクラブの運動会での披露等
- (3) プロジェクト3「新たな教育のかたちを創造する」
  - ① 地域の教育力の活用
    - ・ハッピー九・放課後子ども教室の実施、学校支援ボランティア、青少対との連携
    - ・学校支援ボランティアのコーディネーターと担任との連絡会の実施（学期1回）
    - ・ふるさと村の見学、選挙模擬体験、図書館から本の貸出等
- (4) プロジェクト4「抱え込まない教育の実践～組織的・機動的な学校運営～」
  - ① 昨年度までの課題、今年度の工夫・改善点を、各部会及び企画調整会議（毎月1回）で検討し、起案する。
  - ② 安全管理
    - ・子どもの事故や怪我を未然に防止するため、安全指導や安全点検を充実させる。
    - ・地区班を生かした集団下校体制の整備、教員の見回りポイントの設定
    - ・保護者のメール登録率100%の維持
    - ・日直による確実な校内施錠の実施
  - ② 子どもの成長を、複数の教員で確実に見取る。決して一人で抱え込まない。
    - ・校長・副校長等への迅速で確実な「報告・連絡・相談」
    - ・生活指導連絡会での情報の共有
    - ・必要に応じて校内委員会を実施しチームで対応する。
  - ⑨ 学校予算の計画的・効果的な執行
    - ・各担当は、予算の作成及び執行の適切な進行管理を行い、公費又は私費で購入したものを、効果的に活用できるよう工夫する。
    - ・私費会計の管理を適切に行う。